

森の世話人活動支援事務局からのお知らせ

画像投影型模型のご紹介

六甲山系の地形や土地利用状況による土砂災害の特性を説明することを目的として、プロジェクションマッピングコンテンツを盛り込んだ**画像投影型模型**を六甲砂防事務所に設置しました。投影できる画像は航空写真の他、土砂災害警戒区域等、土砂災害特性の説明に役立つコンテンツになっています。

プロジェクションマッピングとは？

プロジェクターを使用して空間や物体に映像を投影し、重ね合わせた映像にさまざまな視覚効果を与える技術、およびパフォーマンスのこと（参照：IT用語辞典）

六甲山周辺の赤色立体模型

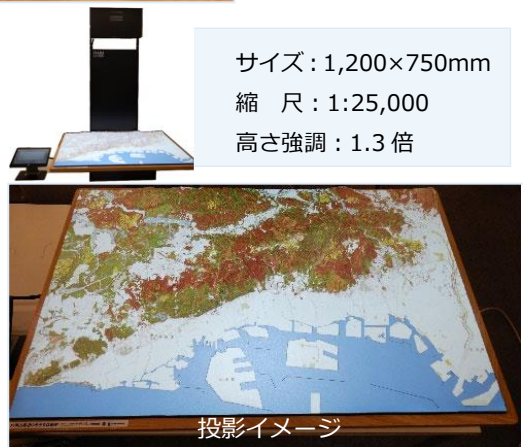
投影できる画像

- 航空写真（H28,H30,R3）
- 植生図・地質図
- 道路・河川・行政界など
- 砂防施設（砂防堰堤位置、山腹工・斜面対策工位置）
- 土砂災害マップ（土砂災害警戒区域など）
- 流域界
- 崩壊地判読結果（S42,H7,H25,H26,H28,H30,R1,R3）
- ナラ枯れの推移（H26,H28,H30,R2,R3,R4）
- グリーンベルトの範囲

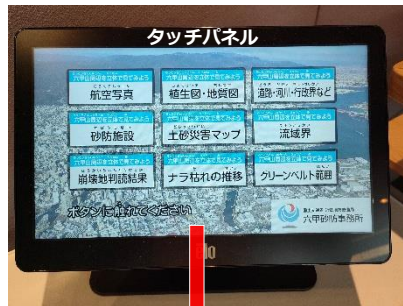
サイズ：1,200×750mm

縮尺：1:25,000

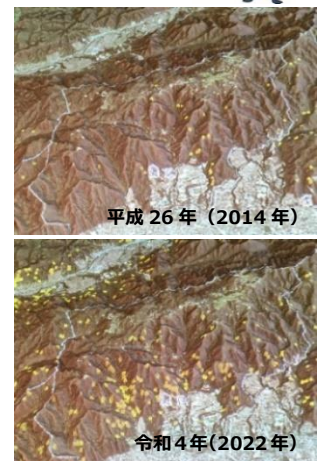
高さ強調：1.3倍



六甲山系の砂防施設やナラ枯れの推移などがご確認頂けます。
タッチパネルからメニューを選んで立体模型に投影してみてください。



ナラ枯れの推移 ボタン ON
次に表示される年度を選ぶと黄色の点で推移を確認していただけます。



現在、六甲砂防事務所 1 階ロビーに設置されています。平日（8:30～17:15）に訪問されることがございましたら、ぜひタッチパネルに表示される各コンテンツに触れて頂き、画像投影型模型に投影される画像を視覚で確認してご覧ください。

タッチパネルにはコメントも表示されます。

「六甲砂防事務所では、六甲山地のナラ枯れ枯死木の位置を現地調査やヘリコプターによる上空調査から把握しています。平成 26 年には六甲山地の東側で局所的に発生していたナラ枯れ枯死木は、平成 28 年には東側地域を中心に大幅に増加し、その後、集中地域は西側へ徐々に移動してきていることがわかります。また、令和 2 年以降、ナラ枯れ枯死木が減少してきています。」

未来を守る緑の六甲へ